

クロザピン（クロザリル）治療について

クロザピン（商品名：クロザリル）とは

クロザピンは、治療抵抗性統合失調症に対して効果があることが認められている、唯一のお薬です。海外では米国、英国をはじめ 100 ヶ国以上（2016 年 8 月時点）で承認され効果を上げている薬剤で、国内臨床試験においても、治療抵抗性統合失調症患者の 50%以上に改善が認められています。

治療抵抗性統合失調症とは

複数の抗精神病薬を十分な量、十分な期間用いても症状が改善されない、あるいは副作用のために服薬継続が難しい統合失調症の患者さまがおられ、そのような状態を「治療抵抗性統合失調症」と呼びます。

クロザピンの有効性と副作用

治療抵抗性統合失調症に対するクロザピンの有効性は高い一方、白血球減少や心筋炎、高血糖といった重篤な副作用が出現するおそれがあるため、定期的な血液検査が義務づけられています。また、初回投与開始から原則 18 週間は、入院管理下での治療が必要です。当院では、副作用出現時には必要に応じて搬送できるよう JCHO 神戸中央病院と覚書を交わし、院内の内科医との連携のもと、クロザピンの使用を行っています。

クロザピン患者モニタリングサービス（CPMS）

クロザピンは、この薬についての講習を履修し、クロザピンの情報や緊急時の対処を含めて十分な知識を習得し、審査を通過した医師（CPMS 登録医）に限り処方できます。また、クロザピンによる治療を行う医療機関は登録が必要です。採血当日に血液検査などの結果を得ることができること、好中球減少症や無顆粒球症に対する対応が可能なこと、糖尿病内科医との連携が可能であること、CPMS 登録医、CPMS コーディネート業務担当者、クロザピン管理薬剤師がそれぞれ 2 名以上いることが登録要件です。当院は、これらの要件を満たしており、クロザピンによる治療が可能な医療機関です。